

<バーゼルⅢ 第3の柱に基づく開示事項>

(レバレッジ比率の構成に関する事項)

「国際様式の該当番号」とは、バーゼル銀行監督委員会により2014年1月12日に公表された「レバレッジ比率の枠組みと開示要件」と題する文書の表1及び表2に記載された番号を指します。

【2022年3月期・連結・速報値】

(単位：百万円、%)

国際様式 (表2)の 該当番号	国際様式 (表1)の 該当番号	項目	当四半期末 (2022年3月末)	前四半期末 (2021年12月末)
<b>オン・バランス資産の額</b>				
1		調整項目控除前のオン・バランス資産の額	6,991,113	6,918,990
1 a	1	連結貸借対照表における総資産の額	7,084,936	6,968,904
1 b	2	連結レバレッジ比率の範囲に含まれない子法人等の資産の額 (△)	-	-
1 c	7	連結レバレッジ比率の範囲に含まれる子会社の資産の額 (連結貸借対照表における総資産の額に含まれる額を除く。)	-	-
1 d	3	連結貸借対照表における総資産の額から控除される調整項目以外の資産の額 (△)	93,822	49,914
2	7	Tier 1 資本に係る調整項目の額 (△)	54,059	51,051
3		オン・バランス資産の額 (イ)	6,937,054	6,867,939
<b>デリバティブ取引等に関する額</b>				
4		デリバティブ取引等に関するRCの額に1.4を乗じた額	-	-
		デリバティブ取引等に関する再構築コストの額	29,088	18,294
5		デリバティブ取引等に関するPFEの額に1.4を乗じた額	-	-
		デリバティブ取引等に関するアドオンの額	38,562	37,976
		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	38,595	-
6		連結貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額	-	-
		連結貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	-	-
7		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額のうち控除する額 (△)	-	-
8		清算会員である銀行が補償を義務付けられていない顧客とのトレード・エクスポージャーの額 (△)	-	-
9		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額	-	-
10		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額から控除した額 (△)	-	-
11	4	デリバティブ取引等に関する額 (ロ)	106,246	56,270
<b>レポ取引等に関する額</b>				
12		レポ取引等に関する資産の額	-	-
13		レポ取引等に関する資産の額から控除した額 (△)	-	-
14		レポ取引等に関するカウンターパーティ・リスクのエクスポージャーの額	2,285	1,262
15		代理取引のエクスポージャーの額	-	-
16	5	レポ取引等に関する額 (ハ)	2,285	1,262
<b>オフ・バランス取引に関する額</b>				
17		オフ・バランス取引の想定元本の額	441,659	449,955
18		オフ・バランス取引に係るエクスポージャーの額への変換調整の額 (△)	309,848	314,853
19	6	オフ・バランス取引に関する額 (ニ)	131,810	135,102
<b>連結レバレッジ比率</b>				
20		資本の額 (ホ)	666,862	698,760
21	8	総エクスポージャーの額 (イ) + (ロ) + (ハ) + (ニ) (ヘ)	7,177,396	7,060,574
22		連結レバレッジ比率 (ホ) / (ヘ)	9.29%	9.89%
<b>日本銀行に対する預け金を算入する場合の連結レバレッジ比率</b>				
		総エクスポージャーの額 (ヘ)	7,177,396	7,060,574
		日本銀行に対する預け金の額	1,459,776	1,689,648
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の総エクスポージャーの額 (ヘ')	8,637,172	8,750,223
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の連結レバレッジ比率 (ホ) / (ヘ')	7.72%	7.98%

(注) 「いよぎん愛媛大学発ベンチャー応援ファンド投資事業有限責任組合」(以下、IEUF)および「いよエバークリーン事業承継応援ファンド2号投資事業有限責任組合」(以下、IEBF2)は、会計上、非連結の子会社ですが、自己資本比率告示第三条の規定に従い、規制上の連結対象には含まれております。そのため、「バーゼルⅢ第3の柱に基づく開示事項」における連結貸借対照表は、IEUF、IEBF2を含めて作成した規制上の連結対象に基づいた貸借対照表であり、会計上の公表貸借対照表とは相違します。

(前四半期の連結レバレッジ比率との間に著しい差異を生じた原因)

資本の額の減少により、2022年3月期の連結レバレッジ比率は2021年12月期に比べ低下しました。

## 【2022年3月期・単体・速報値】

(単位：百万円、%)

国際様式 (表2)の 該当番号	国際様式 (表1)の 該当番号	項目	当四半期末 (2022年3月末)	前四半期末 (2021年12月末)
<b>オン・バランス資産の額</b>				
1		調整項目控除前のオン・バランス資産の額	6,959,017	6,885,472
1 a	1	貸借対照表における総資産の額	7,052,840	6,935,386
1 b	3	貸借対照表における総資産の額から控除される調整項目以外の資産の額 (△)	93,822	49,914
2	7	Tier 1 資本に係る調整項目の額 (△)	44,709	44,047
3		オン・バランス資産の額 (イ)	6,914,307	6,841,424
<b>デリバティブ取引等に関する額</b>				
4		デリバティブ取引等に関するRCの額に1.4を乗じた額	-	-
		デリバティブ取引等に関する再構築コストの額	29,089	18,294
5		デリバティブ取引等に関するPFEの額に1.4を乗じた額	-	-
		デリバティブ取引等に関するアドオンの額	38,563	37,976
		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	38,595	-
6		貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額	-	-
		貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	-	-
7		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額のうち控除する額 (△)	-	-
8		清算会員である銀行が補償を義務付けられていない顧客とのトレード・エクスポージャーの額 (△)	-	-
9		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額	-	-
10		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額から控除した額 (△)	-	-
11	4	デリバティブ取引等に関する額 (ロ)	106,247	56,270
<b>レポ取引等に関する額</b>				
12		レポ取引等に関する資産の額	-	-
13		レポ取引等に関する資産の額から控除した額 (△)	-	-
14		レポ取引等に関するカウンターパーティ・リスクのエクスポージャーの額	2,285	1,262
15		代理取引のエクスポージャーの額	-	-
16	5	レポ取引等に関する額 (ハ)	2,285	1,262
<b>オフ・バランス取引に関する額</b>				
17		オフ・バランス取引の想定元本の額	426,758	434,947
18		オフ・バランス取引に係るエクスポージャーの額への変換調整の額 (△)	296,437	301,345
19	6	オフ・バランス取引に関する額 (ニ)	130,320	133,601
<b>単体レバレッジ比率</b>				
20		資本の額 (ホ)	643,800	673,132
21	8	総エクスポージャーの額 (イ) + (ロ) + (ハ) + (ニ) (ヘ)	7,153,161	7,032,559
22		単体レバレッジ比率 (ホ) / (ヘ)	9.00%	9.57%
<b>日本銀行に対する預け金を算入する場合の単体レバレッジ比率</b>				
		総エクスポージャーの額 (ヘ)	7,153,161	7,032,559
		日本銀行に対する預け金の額	1,459,776	1,689,648
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の総エクスポージャーの額 (ヘ')	8,612,937	8,722,207
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の単体レバレッジ比率 (ホ) / (ヘ')	7.47%	7.71%

## (前四半期の単体レバレッジ比率との間に著しい差異を生じた原因)

資本の額の減少により、2022年3月期の単体レバレッジ比率は2021年12月期に比べ低下しました。